

令和3年4月5日



相原中学校だより

拓け 夢を、
築け 人生の礎を

自己有用感・自己効力感の育成（共に認め合い、貢献、感謝）

「学ぶ」ことは楽しいこと

校長 伊藤 隆一

桜の花びらが風に舞う、春風の心地よい季節となりました。昨年、相原中学校に着任し、2年目となりました、伊藤隆一（いとうりゅういち）です。微力ではございますが、精一杯努力したいと存じます。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さあ、今日は令和3年度の始業式、そして入学式です。ご入学・ご進級おめでとうございます。相中に42回目の春がめぐってきました。

さて、本年度より中学校では新しい学習指導要領が全面実施となります。この学習指導要領はおよそ10年ごとに改定されており、それぞれの教科等の目標や大まかな教育内容を定め、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準となっています。

今回の新しい学習指導要領では、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱からなる「資質・能力」を総合的にバランスよく育てていくことを目指しています。また、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の視点からの授業改善を重要視しています。そして、将来の社会を生きていく子どもたちを育てていくうえで、コンピュータを学びの道具として、生徒が活用できるようにしていくために1人1台のタブレットを提唱したのが、GIGAスクール構想です。昨年度の全国一斉の臨時休校により、学びを保障するための手段として、機器の整備が一気に進みました。学習環境として整備されたICTをいかすことで、全ての子供たちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現という学校教育像を描いています。

ここで、「学び」と「授業」や「勉強」のちがいを確かめておきたいと思います。

教師と生徒が(オンラインの場合も含めて)対面し、一定の時間をともに過ごし、指導と学習が行われるのが授業です。一方、「学び」はより広い概念です。授業外の予習・復習、宿題、自主学習、図書館や社会教育施設に出かける、塾・習い事や通信教育などで学ぶこと含めてあらゆる機会が「学び」の機会となります。

「勉強」という言葉は、「勉め強いる（つとめしいる）」と読みます。「たとえどんなに嫌なことであっても仕方なく行う」というものです。

これに対して、「学ぶ」という言葉は、一般的に真に似せるという意味から「真似ぶ（まねぶ）」が登場し、そこから「誠に学ぶ」という意味が発生し、「学ぶ」に変化していったとされます。

「学ぶ」とは学習者が能動的に「教えるを受ける」または「学問をする」意味で使われます。「学ぶ」ことは「遊ぶ」ことに近い言葉です。「学ぶ」ことは楽しいことです。





相原中学校の教育

「人生の礎」となる力を育むこと、本校が開校以来、追求してきた教育です。それは、子どもたちの「生きる力」、「自立の力」を育てていくことです。そのために、本年度は生徒の「自己有用感（人の役に立ったという感情）」や「自己効力感（やればできると自分を信じられる感覚）」の育成を重点に取り組んで参ります。

■学校教育目標

「自ら学び、人間性豊かに、たくましく生きる生徒を育てる」

■校訓 「拓け 夢を、 築け 人生の礎を」

挑戦 共生 感動

■目指す学校像

- 学力のつく学校
- 生徒が主役の学校
- 豊かな心を育む学校
- 健やかな心身を育む学校
- 地域と共に歩む学校

■目指す生徒像

周りを思いやり、目標に向かって根気よく努力できる、心豊かで元気な生徒



■令和3年度の重点目標

- 互いの良さを認め合い、自己有用感・自己効力感を高める生徒の育成
- ・ともに認め合い ・貢献 ・感謝



4月の予定

5日（月）着任式、始業式、入学式	22日（木）1年・あいほら級 授業参観・保護者会
7日（水）身体計測、朝読書開始	23日（金）1年部活動本入部開始 生徒会代表議会
8日（木）避難訓練、 1年部活動仮入部開始	24日（土）PTA新旧運営委員会
12日（月）給食開始、給食後下校	27日（火）内科検診、議長講習会 ブロ長・副会議
13日（火）尿検査、内科検診 生徒会専門委員会 優輝祭実行委員会、ブロ長会議	29日（木）昭和の日
19日（月）地区別集会	30日（金）ブロック抽選会 学級プログラム委員会 緊急地震速報対応訓練
20日（火）3年授業参観・保護者会	
21日（水）2年授業参観・保護者会	